



## 星和台鳴子防災福祉コミュニティ 地域おたすけガイド

この「おたすけガイド」は災害発生後より72時間を想定して作成しました。  
作成方法は防コミ役員と消防局・北消防署・北区役所・小・中学校・PTAの  
参加のもと「ワークショップ方式」で完成させました。

### 防コミ運営本部設置

- ◆震度5弱以上の地震が発生したとき。
- ◆特別警報が出されたとき。
- ◆災害が拡大する恐れがあるとき。

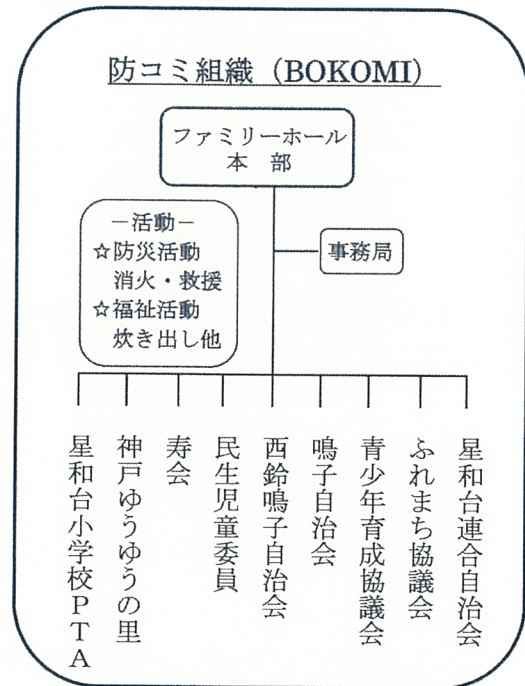
### 活動方針

- ◆自らの安全を確保する。
- ◆近隣の方々に助け合う。
- ◆自分たちのできる範囲で防災活動を行う。

### 避難所開設

- ◆開設確認と受け入れ準備
- ◆「いつでもじゃぐち」（星和台小学校）  
の器具設置。

### 防コミ組織 (BOKOMI)



防コミ運営本部設置場所	星和台ファミリーホール（発電機3基設置済み）
防災資機材庫の場所	星和台ファミリーホール
	地域福祉センター（横）
	星和台公園
	源治谷公園
避難所	星和台小学校（いつでもじゃぐち有）
	星和台中学校
防災行政無線保有者	星和台ファミリーホール
	地域福祉センター

## 地震発生～あなたの行動は —あわてず まず身の安全を—

- ◆火を使用している場合は、可能な限り火を消す。
- ◆地震の揺れを感じたら、まず、丈夫なテーブルの下に隠れるなど身の安全を確保する。
- ◆家族の安全を確認する。
- ◆火災が発生すれば消火器等で初期消火を行う。
- ◆ラジオなどで情報を確認する。
- ◆家から出る時は、ブレーカーを落とす。

## あなたの緊急連絡先

—日頃より家族で避難所を決めておきましょう—

1	星和台ファミリーホール	078-592-1117
2	神戸ゆうゆうの里	078-594-9000
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		



## 防災福祉コミュニティとしての活動

### 1. 防コミ運営本部の立ち上げ

- 活動できる役員は、星和台ファミリーホールに集合する。
- 防コミ運営本部を立ち上げる。
- 各丁の自治会長も可能な限りファミリーホールに集合する。
- 本部に駆けつけた役員の中から統括防災リーダーを決定する。
- 統括防災リーダーは集まってきたメンバーで、情報収集班、救出班等の班別編成を行う。
- 本部に地域の地図、防災マップ等を配置する。
- 情報を共有するためホワイトボードや模造紙を準備する。
- 情報収集班は地区内の被害情報を収集し、被害状況に応じて、活動内容の具体的指示（情報収集・伝達、安否確認、被災者の救出・救護等）を出す。

### 2. 活動人員の確保

- 活動班の人員が不足している場合は、避難所へ伝令を送り、防災活動ができる人員を募り、救出などの活動に派遣する。

### 3. 情報収集・伝達

- 星和台鳴子地区の人命に関する情報収集を行う。次に、それ以外の情報収集を行う。
- 避難所と防コミ運営本部間の伝達係員を指名する。
- 必要な情報等は、伝令等により伝達する。
- 伝令等により、各地区内の被害状況や住民の安否等の状況調査を行う。
- ラジオ、テレビ（自動車他）、防災行政無線等で地震情報等の収集を行う。

### 4. 安否確認

- 特に要援護者は民生・児童委員等と協力し安否確認を行う。
- 寿会（老人会）とも協力し、安否確認を行う。  
※ドア等に安否確認済みの目印をつける、安否不明者宅に連絡票を張る。

### 5. 消火活動

- 消火器具等を活用し初期消火を行う。
- 出火場所を確認する。
- 消火活動人員の指名をする。
- 単独ではなく、チームを組んで活動する。



## 6. 救出・救護活動

- 二次災害に注意しながら、ブロック単位で防災資機材を使用し、負傷者を救出する。

※救出にはジャッキ（自動車用が有効）やバール、のこぎり等が有効。

- 救出活動人員を指名する。
- 被災者が負傷している場合は、止血等の応急手当を可能な限り実施し、医療機関へ搬送する。

## 7. 災害時要援護者の避難支援

- 自宅の損傷により、避難所等に避難する必要がある災害時要援護者の避難支援を行う。
- 支援者を指名する。

## 8. 区・消防署への連絡

- 被害情報、活動情報等を区役所や消防署に連絡する。
- 避難所運営で必要な事を区役所等へ伝える。



## その他 【発生後～72時間（3日）ぐらいまで】

—生活環境を考えた取り組み—

### 1. 避難所の運営

- 学校関係者、区役所職員や災害ボランティアと協力して避難所の運営にあたる。
- 女性や子育て家庭に配慮する。
- 一緒に避難してきたペットへも配慮する。
- 災害時要援護者に配慮する。

※指定避難所での生活において、何らかの特別な配慮を要する要支援者のために福祉避難所が設置されます、神戸市では老人福祉施設や地域福祉センターなどが指定されます。

※特に、集団生活に対応することが困難な方は特別な配慮が必要です。

- 福祉避難所を必要とする方について、避難所を巡回する市の保健師へ連絡する。

### 2. 生活情報の収集

- 生活情報の収集（要望等）及び住民へのPR。

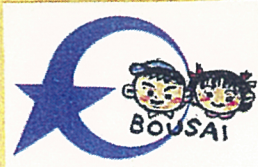
### 3. 防火・防犯パトロール

- パトロール班を結成し、交代で地域内のパトロールを行う。
- 軽トラック（マイク付き車）の効果的使用を考える。



# 大きなじしんがきました

一人でいるとき  
きみたちはどうする？



●あなたのれんらくさき

星和台ファミリーホール	078-592-1117

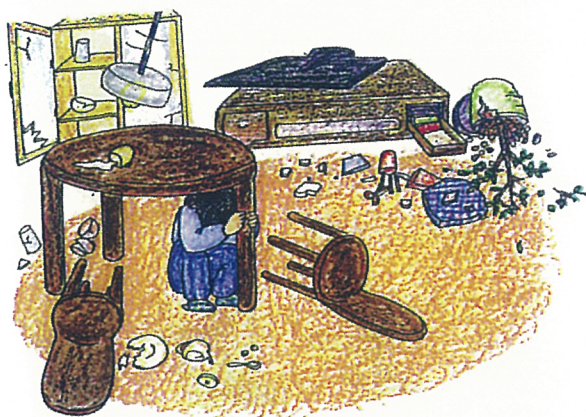
星和台 ぼうさい

作成:星小PTA・防コミ  
県防災士会  
イラスト:山田陽子



# I

## ゆれているときどうする？ 『じぶんをまもる』



リビングにいる時、はげしく揺れたら

- ★一人でいえにいるとき
- ★ともだちとこうえんであそんでいるとき
- ★がっこうへ行くとき・かえるとき



ランドセルを<sup>あたま</sup>頭に <sup>あたま</sup>頭を守りながら <sup>ぶえ</sup>机の下



公園の<sup>ま</sup>真ん中に <sup>あか</sup>に逃げる



お店にいる時、はげしく揺れたら



# 2

## ゆれがおさまった！！ 『おちついてまわりを見る』



- ★まわりを見よう
- ★しばらくまつ
- ★つぎにどうする？

かじ  
火事がないか かくにん 確認



たす もと  
助けを求め



スリッパだったら カーテンなどを巻く

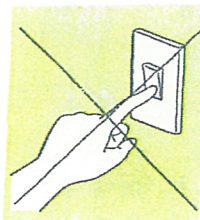


ドアを開けて 救助を待つ

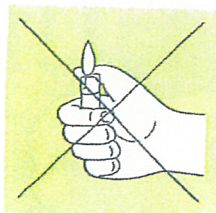


119. 171 へ れんらく 連絡

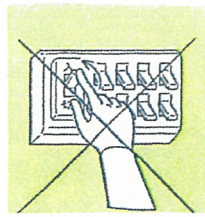
### ★これは NG です



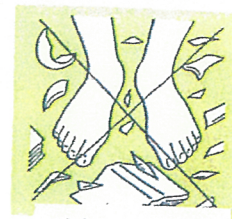
スイッチを入れるのは ~~NG~~



火は ~~NG~~



ブレーカーを入れるのは ~~NG~~

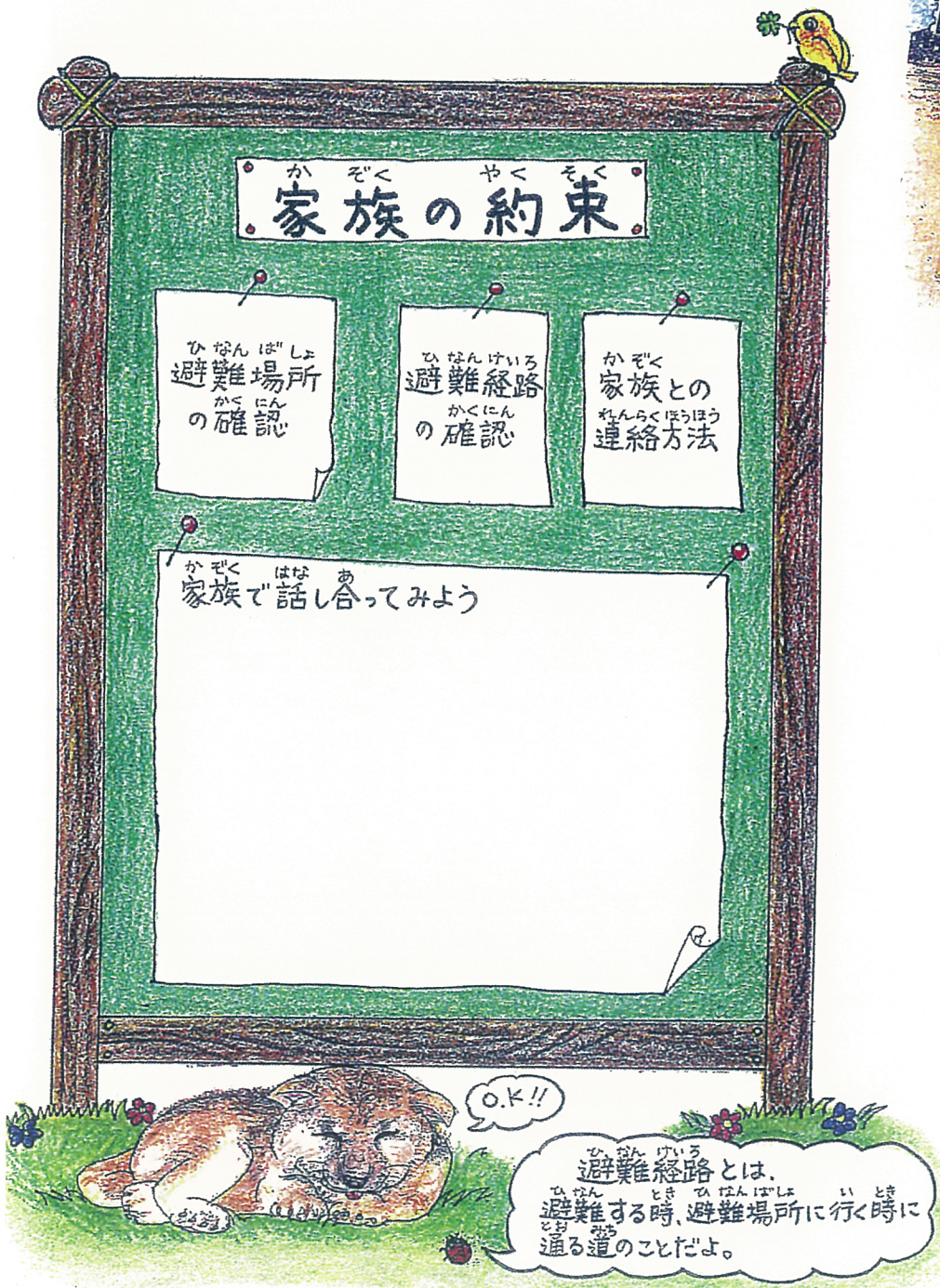


はだし  
裸足は ~~NG~~

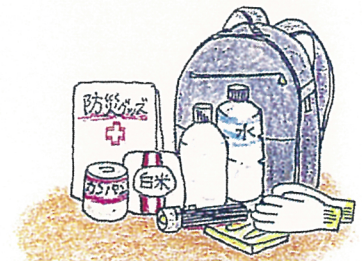


# 3

## 1びがんがたった！！ 『やくそくのところへ行く』



避難所へ行く



避難リュック



大人に報告する





**星和台小学校**  
**子ども版おたすけガイド**  
**ワークショップ結果**

日 時 27年10月10日（土）13：00～15：30

場 所 星和台小学校

参加者 星和台小学生 106名

このデータは地震発生時、地震直後、1時間後の3つの状況

（①友達と公園にいる ②一人で家にいる ③登下校中）

を想定して子どもたちに答えてもらった結果です。

作成年月日 平成27年12月14日

作 成 者 神戸市立星和台小学校 PTA

星和台鳴子防災福祉コミュニティ

協 力 特定非営利活動法人 兵庫県防災士会

神戸学院大学現代社会学部客員教授 松山雅洋

## 子ども版おたすけガイド ワークショップ結果

	友達と公園にいる					一人で家にいる						登下校中					合計
	1班	3班	4班	5班	小計	6班	7班	8班	9班	10班	小計	11班	12班	14班	15班	小計	
1年	1	2	2	2	7	0	0	4	1	2	7	0	3	1	1	5	19
2年	1	0	4	1	6	1	2	0	1	2	6	2	2	3	1	8	20
3年	3	1	0	1	5	2	2	1	1	1	7	2	2	0	0	4	16
4年	0	2	1	0	3	1	1	2	1	2	7	0	0	0	2	2	12
5年	2	0	3	2	7	2	3	1	3	1	10	3	3	3	3	12	29
6年	1	1	0	2	4	2	0	0	0	1	3	1	1	0	1	3	10
合計	8	6	10	8	32	8	8	8	7	9	40	8	11	7	8	34	106

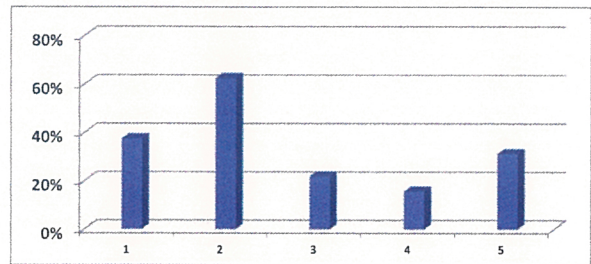
※回答は複数回答

N=32

### ① ゆれているとき

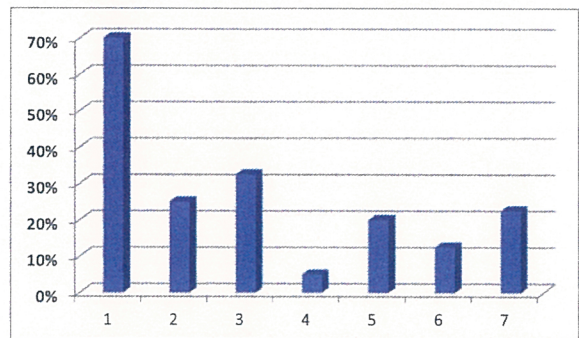
友達と公園にいる 32

No.	回答	回答数	割合
1	何もないうちにいる	12	38%
2	遊具等に隠れる/ひせる	20	63%
3	近くの家、店、学校へ行く	7	22%
4	逃げる	5	16%
5	その他(人、友達を助ける)	10	31%



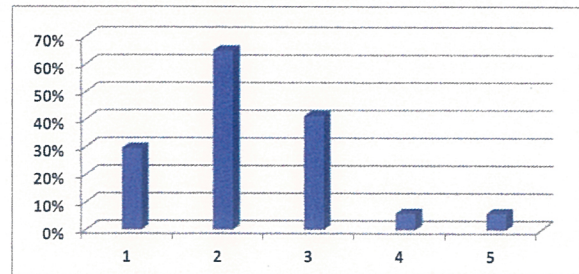
一人で家にいる 40

No.	回答	回答数	割合
1	机等の下、かくれる	28	70%
2	頭を何かで守る	10	25%
3	カーテンを開める、離れる	13	33%
4	靴を履く	2	5%
5	危険なものから離れる	8	20%
6	外には出ない	5	13%
7	その他(外に逃げる)	9	23%



登下校中 34

No.	回答	回答数	割合
1	守る(ランドセルを頭に、丸まる)	10	29%
2	家、学校、友達の家へ逃げる	22	65%
3	広い場所に行く、逃げる(公園等)	14	41%
4	大人を探す	2	6%
5	その他	2	6%

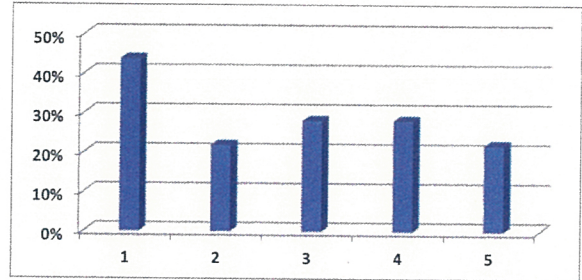




## ② ゆれがおさまったとき

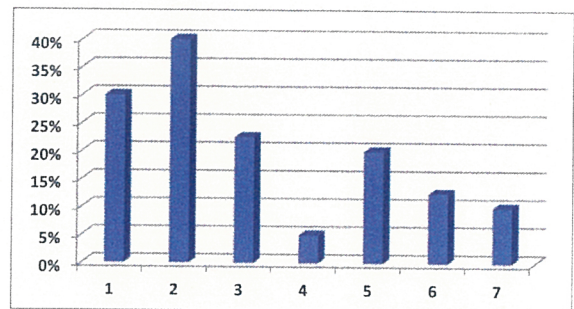
友達と公園にい 32

No.	回答	回答数	割合
1	自宅、避難所、友達の家に行く	14	44%
2	大人が来るまで待つその場にいる	7	22%
3	公園の安全な場所にいる	9	28%
4	友達と行動する	9	28%
5	その他	7	22%



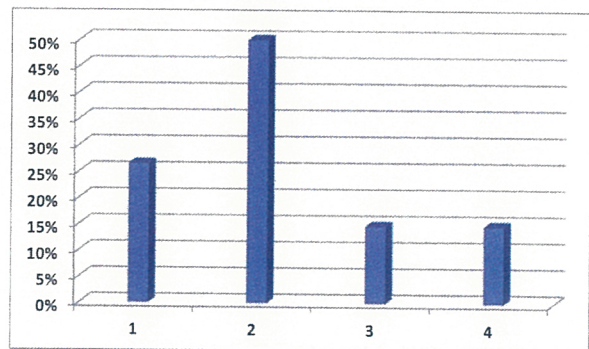
一人で家にいる 40

No.	回答	回答数	割合
1	靴、靴下はく(足にカーテンをまく)	12	30%
2	大切なものを持って避難所へ	16	40%
3	待ち合わせ場所、友達の家に行く	9	23%
4	ドアを開けて救助を待つ	2	5%
5	ニュースを見る、状況確認	8	20%
6	家、机の下から動かない	5	13%
7	その他	4	10%



登下校中 34

No.	回答	回答数	割合
1	逃げる(学校、家、ファミリーホール)	9	26%
2	周りの確認	17	50%
3	情報(119,171、火事はないか)	5	15%
4	その他	5	15%





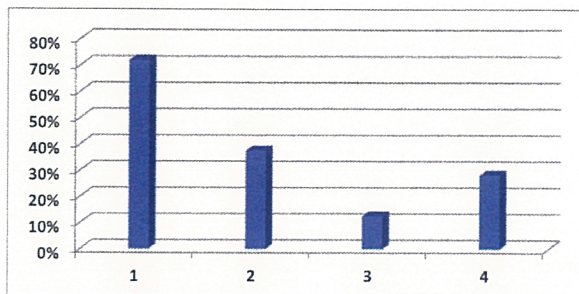
### ㊦ 1時間後

#### 友達と公園にいる 32

No. 回答

- 1 避難所にいる
- 2 一緒にいる人と行動する
- 3 けがの手当てする、してもらう
- 4 その他

回答数	割合
23	72%
12	38%
4	13%
9	28%

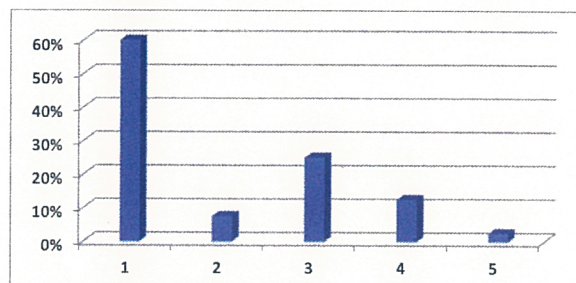


#### 一人で家にいる 40

No. 回答

- 1 避難リュックを持って学校へ
- 2 自宅にいる
- 3 情報を集める、家族を探し回る
- 4 人を助ける
- 5 その他

回答数	割合
24	60%
3	8%
10	25%
5	13%
1	3%

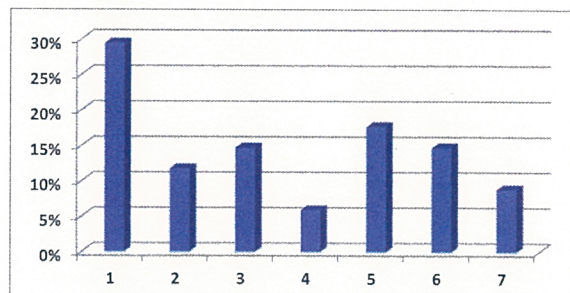


#### 登下校中 34

No. 回答

- 1 リュック等を持って避難所へ
- 2 自宅で行動
- 3 状況確認
- 4 安全(ガラスに注意)
- 5 手ぶらで行動しない
- 6 大人の人と行動する
- 7 その他

回答数	割合
10	29%
4	12%
5	15%
2	6%
6	18%
5	15%
3	9%



### ◆ 必要なことは… 106

No. 回答

- 1 落ち着いて行動
- 2 友達、思いやり、やさしさ
- 3 自分の命、家族、地域
- 4 勇気、冷静、希望をわすれない
- 5 大人の人に知らせる、指示に従う
- 6 学校に行く
- 7 食料、水、避難グッズ
- 8 人に声をかける
- 9 その他

回答数	割合
8	8%
15	14%
26	25%
21	20%
5	5%
4	4%
14	13%
3	3%
12	11%

